

宮城県感染症発生動向調査情報

平成27年11月12日発行

－ 2015.11.2 ～ 11.8 ・ 第45週 －

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所							患者数	宮 城 県 (含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼		患者数	累計	第42週	第43週	第44週	第45週
水痘	5 1.00	4 0.40	4 0.80		6 2.00	2 0.40	1 0.50	26 0.96	48 0.81	1,359	○	○	○	○
流行性耳下腺炎					2 0.67			2 0.07	4 0.07	310				
百日咳									0 0.00	2				
感染性胃腸炎	24 4.80	19 1.90	8 1.60	10 5.00	13 4.33	10 2.00	3 1.50	106 3.93	193 3.27	16,294	◎	◎	◎	◎
手足口病	4 0.80	12 1.20	2 0.40	3 1.50		2 0.40	6 3.00	25 0.93	54 0.92	10,883	◎	◎	○	○
伝染性紅斑		7 0.70	3 0.60					2 0.07	12 0.20	1,595				
突発性発しん	5 1.00	4 0.40	3 0.60		4 1.33			14 0.52	30 0.51	1,650	○	○	○	○
ヘルパンギーナ								1 0.04	1 0.02	1,906				
インフルエンザ	5 0.63	1 0.07				2 0.25	2 0.50	5 0.11	15 0.16	19,630				
咽頭結膜熱	1 0.20	1 0.10				1 0.20		3 0.11	6 0.10	1,063				
流行性角結膜炎		3 1.00							3 0.25	169				
急性出血性結膜炎									0 0.00	3				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	38 7.60	18 1.80		2 1.00	2 0.67	36 7.20	1 0.50	67 2.48	164 2.78	6,349	◎	◎	◎	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)									0 0.00	5				
無菌性髄膜炎									0 0.00	4				
マイコプラズマ肺炎	1 1.00			3 3.00		1 1.00	1 1.00	1 0.20	7 0.58	321				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	1				
RSウイルス感染症	40 8.00	23 2.30	30 6.00	9 4.50	5 1.67	16 3.20	2 1.00	57 2.11	182 3.08	1637	◎	◎	◎	◎
感染性胃腸炎(ロタウイルス)									0 0.00	78				
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	2	2	2	1	2			3					
	川崎病													
	不明発疹症								2					

◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意
○: 発生または流行について、今後の情報に留意
レ: 発生が少なくなっている傾向

※今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 1例

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核

石巻管内 女性1名(第38週)

大崎管内 女性1名

仙台管内 男性1名、女性2名

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O26)

大崎管内 男性1名

腸管出血性大腸菌感染症(O157)

気仙沼管内 男性1名

4類感染症: つつが虫病

栗原管内 女性1名

5類感染症: 侵襲性肺炎球菌感染症

石巻管内 男性1名(第44週)

後天性免疫不全症候群

仙台管内 男性1名(第44週)、男性1名

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(*E. aerogenes*)

仙台管内 男性1名

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

感染性胃腸炎患者より

塩釜管内 第44週採取分 ノロウイルスG1群 1件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確 定	中 間 報 告	
	第42週採取分 (10.12～10.18)	第43週採取分 (10.19～10.25)	第44週採取分 (10.26～11.1)
RSウイルス	11件	7件	11件
アデノウイルス	0件	3件	0件
ライノウイルス	1件	2件	1件
サイトメガロウイルス	0件	1件	1件
パラインフルエンザウイルス1型	0件	1件	1件
4型	0件	1件	0件

※RSウイルスの分離の多い状態が継続しています。

4. 今週のコメント

【腸管出血性大腸菌感染症】

ベロ毒素を産生する大腸菌によって引き起こされる下痢が主症状の感染症です。原因となるO157やO26の血清型が代表的ですが、O121、O103など多くの血清型も確認されています。小児や抵抗力の弱い罹患の際には、血便、尿毒症など重篤な症状を呈することがあり注意が必要です。通常夏季に流行が見られますが、通年患者の報告があり、今週も大崎、気仙沼管内で患者報告がありました。ヒトヒト感染のほか、飲食物からの感染もあるため、飲食の際には十分に加熱するなど注意が必要です。

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

[A群溶血性レンサ球菌感染症]

仙南管内で警報継続中

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)

電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362

HPアドレス: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans//kansen-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

